



物流現場業務改善とコスト削減達成！！

『物流改善7ステップ』

日時／2012年12月10日(月)10:00~17:00
 会場／東京・渋谷近辺の会議室
 受講料／会員 33,600円 一般 37,800円
 (消費税・テキスト代を含みます)

講師

(株)流通エンジニアリング
 代表取締役 横山 英機 氏

厳しい生産合理化要求に振り回されない「在庫」のコントロール

製造業における在庫管理は、納入先の需要と供給側の調達のタイミングに時間差が多い事や、厳しい生産合理化要求のため、どの企業も苦闘しています。この状況を打開するには、顧客の最先端に近い業界のベンチマーキングが大変役立ちます。

卸売業や小売業は益々多品種・少量化が進み、多頻度・少ロット化出荷に対応せねば、在庫過多となり、保管スペースや拠点が増加し、現金の回収が遅くなり、経営を圧迫する事に早くから直面しました。そのため市場変化を素早くキャッチし、売上や在庫状況を早く正確に分析し、柔軟に手を打つ仕組み作りや、役割分担を最適化し、在庫適正化を実現しています。従来の予測手法や発注方法を変化させているのです。

当セミナーでは①在庫管理現場の実態を総点検し②在庫精度向上のための棚卸手法③在庫拠点統合による在庫圧縮のポイント④多品種少量化時代に適合する発注システムの手法等、講師が現場改革で積み上げてきた成功事例をやさしく解説します。

【 プログラム : 12月10日(月) 10:00~17:00 】

第1ステップ『物流環境の変化と改革ポイント』

- 1.A社に求められるSCM(事例)
- 2.商品供給活動の実状にレベル差有り
- 3.ロジスティックスの「サービス・機能・コスト」の関係

第2ステップ『物流コスト削減のポイント』

- 1.コストマネジメントの実際
- 2.物流コスト把握の意義
- 3.物流コストの3次元把握
- 4.物流コストの実態把握方法
5. 物流コストの実際(JILS 事例)

第3ステップ『物流業務の改革課題』

- 1.昨今の物流業務の特性
- 2.改革はしっかりした基本ステップを踏むこと
- 3.定性分析により改革ポイントの共通認識を高めること
- 4.定量分析により改革の共通尺度を持つこと
- 5.物流現場は問題が山積み中

第4ステップ『ロジスティクス情報システムの動向』

- 1.米国版BPRが日本の物流改革に大影響
- 2.入荷システムとSCM
- 3.現品保管システムとロケーション
- 4.ピッキングシステムの考慮点
- 5.出庫検品システム(例)
- 6.作業時間データ収集と見方
- 7.出荷ロット編成と出庫計画との関係
- 8.配達日報は改善の宝の山
- 9.物流に関する問題点の再チェック

第5ステップ『ロジスティックスの生産性評価基準値設定方法』

- 1.生産性向上とは
- 2.ロジスティクス機能の評価基準設定概要
- 3.ロジスティクス処理基準値設定方法
- 4.「処理物量と総時間」分析の事例
- 5.生産性データが収集しづらい理由
- 6.庫内作業基準値の設定例

第6ステップ『在庫最適化へ向けて』

- 1.在庫管理現場の実態
- 2.在庫が「多い・少ない」の判断基準は？
- 3.在庫を適正化するためには(発注担当者の要望)
- 4.在庫最適化のための「諸々の方法」

第7ステップ『ロジスティクス改革には』

- 1.ロジスティクス改革は「売り方・買い方」を巻き込んで
- 2.自社を中心にした商品提供活動の強化を

講師紹介



㈱流通エンジニアリング 代表取締役 横山 英機 氏

1967年中央大学法学部卒業。石油プラント会社(物流設備製造販売)にてシステム合理化プロジェクトを担当。システムコンサルティング会社に移籍し、物流コンサルティング部門GRP部長就任。1989年に株式会社流通エンジニアリングを設立し、現在に至る。物流戦略立案、物流センター開設、在庫削減、情報システム開発などで、メーカーから卸・小売業まで幅広い企業の指導に活躍中。実際の改善成果をふまえた実戦的な指導には定評がある。独立行政法人中小企業基盤整備機構の経営支援アドバイザーを経験し、情報システムと在庫削減実績を持つコンサルタントとして評判が高い。

参加申込は

FAX (03)-3400-8694
ホームページ <http://www.j-ie.com/>

下記ご記入のうえ
このままFAXにて
お申込みください。

『物流改善7ステップ』

CA29 2012年12月10日 植木

■ 貴社名		■ 所在地(〒 -)	
氏名		所属/役職	
派遣責任者	フリガナ	E-mail:	TEL: FAX:
参加者(1)	フリガナ	E-mail:	TEL: FAX:
参加者(2)	フリガナ	E-mail:	TEL: FAX:
合計【 】名		参加費【 円】	

■キャンセル規定に関して■

申込受け後、おそ開催日の10日前になりましたら、参加証(集合案内)、請求書を郵送いたします。正式受付後、参加予定者のご都合が悪く出席できない場合には、代理の方にご出席をお願いします。代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けます。

【注】※キャンセルは、必ずE-mail、または、FAXにて、日本IE協会までご連絡下さい。】

- ・開催日の7日前~前々日(開催日初日を含まず起算): 参加費の50%
- ・開催日の前日および当日: 参加費の全額(料金のご返金はできません)

お申込・お問合せ

日本インダストリアル・エンジニアリング協会
THE JAPAN INSTITUTE OF INDUSTRIAL ENGINEERING
〒150-8307 東京都渋谷区渋谷3-1-1
TEL.03-3400-8715 FAX.03-3400-8694
E-mail: jiie@j-ie.com Website: <http://www.j-ie.com/>

担当: 第一企画部
植木・添田

■個人情報の取扱いについて■

1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、(財)日本生産性本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、(財)日本生産性本部個人情報保護方針の内容については、(財)日本生産性本部ホームページ (<http://www.jpc-net.jp/others/kojinjoho.html>) をご参照願います。
2. 参加されるご本人、ご連絡担当の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込いただきますようお願いいたします。
3. 個人情報は、『日本IE協会』の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに日本IE協会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。
4. 法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。
5. 各種ご案内の送付などを外部に委託することがありますが、委託先にはご本人、ご連絡担当者へのサービス提供に必要な個人情報だけを開示し、サービス提供以外に使用させることはありません。
6. ご本人からの求めにより、開示対象個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加又は削除、利用の停止、消去及び第三者への提供の停止に応じます。この件については、日本IE協会(会員担当: 連絡先 TEL03-3400-8715) または(財)日本生産性本部総務部個人情報保護担当窓口 (TEL03-3409-1112) までお問合せください。【責任者: 個人情報保護管理者(総務部長)】
7. お申込書に個人情報を記入するか否かの判断はご本人次第ですが、必要な個人情報が不足していた場合は日本IE協会からのサービスの全部、または一部が受けられないことがあることをご了承願います。
8. 日本IE協会は、クッキー等のご本人が容易に認識できない方法によって個人情報を取得することは行っておりません。
9. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。